

事業番号	事務事業名	地域づくり推進事業費	所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00280	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名		担当者・シート作成者	山下 直人
	施策名	51 住民のまちづくりの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町民の郷土愛と連帯意識の高揚を図るためのふれあいイベント、伝統文化の継承・育成・希少動植物の保護・育成及び特産品の開発・研究などユニークな事業を実施する団体に対し、その事業を実施する経費の10分の8以内の額とし、20万円を限度として助成する。 (業務の内容、手順など) 交付申請→審査→交付決定→事業実施→事業報告→審査→確定通知→助成金交付 ※令和3年度は当事業補助金への申請なし	合併前旧町村で実施されていた地域づくり事業を新町において再編し、実施された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民	ア 鏡野町人口	人	見込 実績	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970 12,497	11,800	11,627
イ 希少動植物の保護・育成事業実施団体	イ 団体数	団体	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 自然環境保全の意識を高め、保全活動をしてもらう	ア 自然環境の保全活動を行っている町民の割合	%	目標 実績 達成率	48 38 78.5%	50 38 76.0%	42 36.5 86.9%	44	44 83.0%
イ 自然環境保全の意識を高め、保全活動をしてもらう	イ 団体の活動(調査)日数	日	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 1 33.3%	3	3 33.3%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 助成金の交付	ア 助成金交付件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業 11 01					事業番号	
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		地域づくり推進事業費						
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	00280	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	150	150	150	150	150		一般財源	43	43	0	43	43	-43		
合計	150	150	150	150	150		合計(A)	43	43	0	43	43	-43		
財源名称	従事正職員人数						1	1	0	1	1	-1			
	延べ業務事務時間						4	4	0	4	4	-4			
	人件費計(千円)(B)						14	13	0	14	14	-13			
	最終予算額		150 千円		予算執行率		0.0%		トータルコスト(A+B)		57	56	0	57	57
主な支出事業内容(予算)	負担金、補助及び交付金					150 千円		主な支出事業内容(決算)	負担金、補助及び交付金					0 千円	

事業番号	00280	事務事業名	地域づくり推進事業費	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併前の申し合わせにより補助対象事業の縮小を行い、平成18年度より、稀少特定動植物の保護育成に対してのみ補助を行っているが、令和3年度に関しては、活動は1回実施しているが、町以外の補助金を活用している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 特に改善を行っていない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 特に意見や要望はない。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	稀少特定動植物の保護育成を行っている団体に対し支援を行っているが、施策である「住民のまちづくりの推進」に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町民の郷土愛と連帯意識の高揚を図るため行うものであり、公費投入は妥当であるが、申請団体がいないため、見直しの余地がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は町内で町民により組織されている団体を対象としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	町内の稀少特定動植物については限りがあり、保護活動を行う団体が増えることで成果向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	稀少特定動植物の保護・育成を行っている団体が減少し、また、補助金額も少額であるため、影響はほとんどないと思われる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	助成金も上限額までの申請がない中、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業規模が少額であり、これ以上の削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	交付決定・確定通知・助成金交付についての事務のみであり、必要最低限の業務時間である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内全域の団体を対象としており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	事業評価としては、記入している内容から適切であると判断する。 ただ、唯一事業を実施している団体が鏡野町以外のところから補助を受けており、今後この事業をどのようにしていくのか考えなければならない。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 事業を休止し、活動がしたい、補助してほしいという団体が現れた時に再開すればいいのではないかと。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								